記入例２

平成23年分　給与所得者の保険料控除申告書　兼　給与所得者の配偶者特別控除申告書

ご本人印

所轄税務	赤字の部分は記入例です。	（フリガナ）あなたの氏名	スズキ　タロウ 鈴木　太郎　鈴木
税務署長	給与の支払者の所在地（住所）	あなたの住所又は居所	埼玉県○○市△△町１－１

◆給与所得者の保険料控除申告書◆

	保険会社等の名称	保険等の種類	保険期間又は年金支払期間	保険等の契約者の氏名	保険金等の受取人 氏名	続柄	保険料の金額	
生命保険料控除 一般の生命保険料	郵政公社	養老保険	１０年	鈴木　太郎	鈴木　太郎	本人	80,000 円	
	△△生命	定期保険	１年	鈴木　太郎	鈴木　花子	妻	32,400	
					合計		イ 112,400 円	
個人年金保険	○○生命	個人年金	１０年	鈴木　太郎	鈴木　太郎	本人	38,000 円	
	年金の支払開始年月日	H 29・5・					0 円	

12月までに支払う予定の額をご記入ください

12月までに支払う予定の額をご記入ください

	控除額の計算式	①一般の生命保険料	②個人年金保険料	0
	イ又はロの全額	イの金額を左の計算式に当てはめて計算した金額（最高50,000円）	ロの金額を左の計算式に当てはめて計算した金額（最高50,000円）	（最高100,000円）
	00円まで　イ又はロ×1/2＋12,500円			
	000円まで　イ又はロ×1/4＋25,000円			
	一律に50,000円	50,000 円	31,500 円	81,500 円

保険会社等が発行した**保険料控除証明書類**を添付してください

		保険期間	保険等の契約者の氏名	保険等の対象				
地震保険料控除	□□火災保険	建物（地震）	５年	鈴木　太郎	鈴木　太郎	本人	地震・旧長期	30,000
	Aのうち地震保険料の金額の合計額	B 30,000 円		Aのうち旧長期損害保険料の金額の合計額				C 円
	地震保険料控除額	Bの金額（最高50,000円） 30,000 円	＋	Cの金額（Cの金額が10,000円を超える場合は、C×1/2＋5,000円）（最高 15,000円） 円	＝			（最高 50,000 円） 30,000 円

12月までに支払う予定の額をご記入ください

12月までに支払う予定の額をご記入ください

社会保険料控除 社会保険の種類	保険料支払先の名称	保険料をことになっ 氏名	続柄	保険料の金額		あなたが本年中に支払った掛金の金額
国民年金	社会保険庁	鈴木　一郎	長男	42,300円	業共済 独立行政法人中小企業基盤整備機構の共済契約の掛金	円
					合加入者掛金	

給与から天引きされている以外に社会保険料を支払った場合に記入してください
（お子様の国民年金等）
国民年金の保険料や国民年金基金の掛金については**日本年金機構等が発行した証明書類**の添付が必要です

◆給与所得者の配偶者特別控除申告書◆

あなたの本年中の合計所得金額の見積額	円（1,000万円を超える場合は申告できません。）
（フリガナ）配偶者の氏名	鈴木　花子
あなたと配偶者の住所又は居所が異なる場合の配偶者の住所又は居所	

○　次の場合には、配偶者特別控除を受けることができません。
あなたの配偶者が、配偶者控除の対象となる場合、他の人の扶養親族とされる場合、青色事業専従者として給与の支払を受ける場合又は白色事業専従者に該当する場合には、申告できません。また、夫婦の双方がお互いに配偶者特別控除を受けることはできません。

○　配偶者の合計所得金額（見積額）を次の表により計算してください。

所得の金額		収入金額等ⓐ	必要経費等ⓑ	所得金額（ⓐ－ⓑ）
給与所得	①	円 1,130,000	円 650,000	円 480,000
事業所得	②			
雑所得	③			
配当所得	④			
不動産所得	⑤			
退職所得	⑥		（退職所得控除額）	（ⓐ－ⓑ）×1/2
①～⑥以外の所得	⑦		（うち特別控除額 円）	（一時所得又は長期譲渡所得は1/2）
配偶者の合計所得金額（①～⑦の合計額）				A 480,000 円

（注）「配 裏面

配偶者の平成23年の給与収入金額が**103万円超141万円未満**の場合に該当します。
収入の種類が給与以外の方は、申告書裏面をご覧ください。

※ 申告書返送時までに収入金額が確定しない場合は、ご連絡ください。

○　配

配偶者特別控除額	B 欄の金額	3	1	万円

◎◎◎

この申告書は、平成２３年９月１日現在の所得税法関係法令の規定に基づいて作成してあります。

この申告書の記載に当たっては、裏面の説明をお読みください、

地震保険料控除の「地震保険料又は旧長期損害保険料の区分」欄の記載に当たっては、一つの損害保険契約等ごとに、地震保険料を控除の対象とする場合には「地震」の文字を、旧長期損害保険料を対象とする場合には「旧長期」の文字のいずれか一方を○で囲んでください。